

子どもの家 NEWS 2022年秋号



発行 一般社団法人 子どもの家運営委員会

第8回縁側市 昨年につき、 コロナ禍のため中止します。

みなさん！いつも子どもの家の活動を見守り、支えてくださって、本当にありがとうございます。
今年も様々な情勢を鑑みて、中止することになりました。代わりに子どもたちが楽しみにしているクリスマス会を昨年に引き続き 行う予定です。
例年は縁側市にて活動報告をしまいましたが、本年はニュースレターにてお伝えします

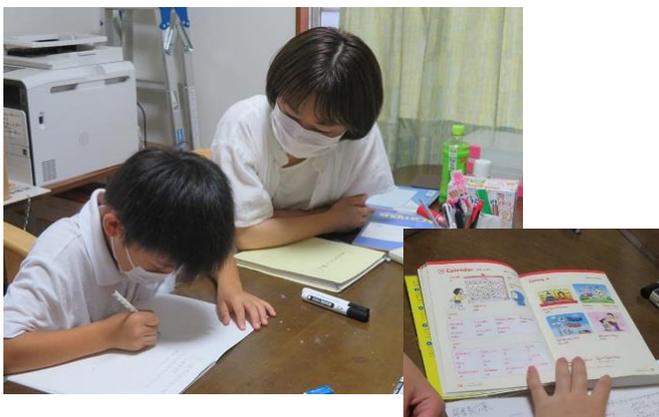
★昨年製作した動画はこちらから→



コロナ禍で開所できない日々はフードバンクからの提供食料を各家庭に配布、電話にて子どもたちの様子を聞き、時には保護者の声に耳を傾け、つながりを紡いできました。

●学習支援 日々の宿題に加えて、「英語を習いたい！」という小学生の希望が出ました。

2021年より2年間、橋本財団とみんつく財団より学習支援のための助成金を得て、学生には謝金を出すことができます。今年は清心女子大学など学生さんたちが週1~2回 宿題や英語を教えてください。「ダンスやピアノや英語を習いたいけどママはいつも『考えとく』って言うんじゃ」という寂しげな呟きを拾い上げて、英語教材を揃えました。



●勉強以前に…机に向かって集中する練習、そして指先を使う～折り紙に挑戦

最初は5分と椅子に座っていることができませんでしたが、根気よく向き合ってくれる大学生のお姉さんと過ごすうちに落ち着いて取り組むことができるようになりました。



●開所以来8年も使っている手作りの卓球台 ベニヤの上に板を取り付けてネットの代わり

卓球で白熱したり、ゲームの勝ち負け、ケンカの種は尽きません。以前は收拾が着かなくなり、手が出ることもありました。ところが先日小学生が「自主的に」みんなで車座になって話し合い、解決しました！



子どもの家に「帰って」きたら、テーブルゲームをしたり、宿題をしたりしながら夕食を待ちます。おやつを食べながら、学校であったことを話してくれるようになりました。

今、寛いだ雰囲気の中で過ごす放課後ができています。